

令和元年度「いじめに関するアンケート調査」結果について

生徒指導支援室

1 調査対象期間 平成31年4月1日～調査日（調査実施基準日：令和元年6月28日）

2 回答学校数及び回答児童生徒数

校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	中等教育学校	合計
公立	196	103	40	10		349
国立	2	1			1	4
私立	5	10	21		1	37
合計	203	114	61	10	2	390

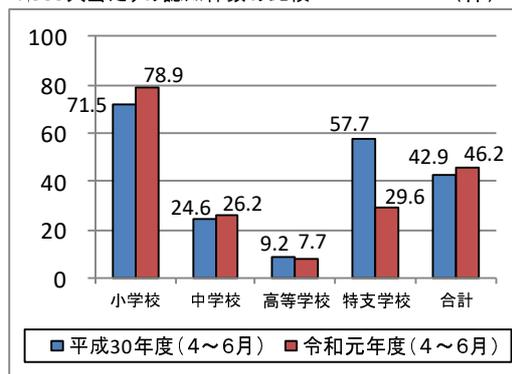
校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
公立	64,536	30,210	24,476	406	119,628
国立	866	785	358		2,009
私立	1,922	4,610	13,737		20,269
合計	67,324	35,605	38,571	406	141,906

※ 回答児童生徒数については、中等教育学校前期課程は中学校に、中等教育学校後期課程は高等学校に含む

3 いじめの認知件数

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
令和元年度 (4月～6月)	認知件数	5,314	933	297	12	6,556
	1,000人当たりの 認知件数	78.9	26.2	7.7	29.6	46.2
平成30年度 (4月～6月)	認知件数	4,855	888	349	28	6,120
	1,000人当たりの 認知件数	71.5	24.6	9.2	57.7	42.9

1,000人当たりの認知件数の比較 (件)



4 児童生徒自身がアンケートに回答した加害者の区別(複数回答可)

	小学校	中学校	高等学校
同じ学級・ホームルームの人	① 56.1%	① 67.6%	① 61.2%
違う学級・ホームルームの人(同学年)	② 18.0%	② 32.7%	② 27.0%
(同じ学校に通う)先輩	③ 13.0%	③ 4.9%	③ 7.0%

※ ○の中の数字は順位(7項目のうち3項目を表示)

5 児童生徒自身がアンケートに回答したいじめの態様(複数回答可)

	小学校	中学校	高等学校
冷やかされたり、からかわれたり、おどされたり、悪口や嫌なことを言われたりする	① 47.4%	① 61.8%	① 64.1%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりする	② 20.2%	② 20.1%	⑤ 13.3%
仲間はずれにされたり、集団で無視されたりする	③ 15.6%	③ 18.7%	② 23.2%
パソコンやスマートフォン等の情報機器を利用して、悪口や嫌なことを書かれたりする	⑨ 0.9%	⑤ 10.4%	③ 18.8%

※ ○の中の数字は順位(9項目のうち4項目を表示)

いじめに関するアンケート調査について(調査期間:毎年度4~6月)

(1) 令和元年度アンケート集計様式について

1「いじめられたことがある」

学年	質問1で、生徒が「いじめられたことがある」と回答した件数(A+B)	A 学校がいじめと認知した件数 (①+②+③)	Aの内訳(1)			B ④ ①②③に当てはまらず、いじめではないと確認した件数 (いじめの定義に合致しない)
			① 一度だけ嫌な思いをした。等、些細な、軽微なもの (いじめの定義に合致)	② ①に比べやや深刻な状況で、見守りを継続的に行っているもの (いじめの定義に合致)	③ 被害生徒や加害生徒に直接支援や指導を行ったもの (いじめの定義に合致)	
			④			
1						

2「(周りに)いじめられている人がいる」

いじめられている人の学年	質問3で、生徒が「周りでいじめられている人がいる」と回答した件数のうち、質問1で、生徒が「いじめられたことがある」と回答した事象と重複するものを除く	a 学校がいじめと認知した件数 (①+②+③)	aの内訳(1)			b ④ ①②③に当てはまらず、いじめではないと確認した件数 (いじめの定義に合致しない)
			① 一度だけ嫌な思いをした。等、些細な、軽微なもの (いじめの定義に合致)	② ①に比べやや深刻な状況で、見守りを継続的に行っているもの (いじめの定義に合致)	③ 被害生徒や加害生徒に直接支援や指導を行ったもの (いじめの定義に合致)	
			④			
1						